

## 令和2年度 わかあゆ認定こども園自己評価結果

### 1. 教育・保育の目標

園児一人一人に応じた教育・保育を一体的に行い、心身ともに健康で明るく、たくましい子を育てる。

■ 目指す子どもの姿

- げんきにあそぶ子
- あいさつのできる子
- おもいやりのある子
- じぶんのことはじぶんでできる子

### 2. 重点的に取り組む目標・計画

- 安全教育の徹底と基本的生活習慣の形成に努める。
- 教員研修の継続的に実践し、教育、保育の質の向上を図る。
- 保護者と外部機関との連携を図り、子どもの育ちを共有する。
- 子ども一人一人の特性や発達過程に応じた指導を行う。

### 3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	取組状況
認定こども園教育・保育要領に基づき、園児の実態に即した指導計画が作成されている。	A	乳児から幼児への緩やかな継続の保育を行えるよう園児の発達を考慮し、教育・保育の中で育ててほしい姿を職員で研修しながら作成した。
指導計画により、計画的に教育・保育が行われている。	A	指導計画・週案日案等により日々繋がりのある保育ができるよう園児に即した計画実践ができるように園内研修や職員会議等で検討、改善をしている。
教育・保育に適切な環境が構成されている。	A	環境構成を大切にしながら保育教諭の意図する活動の場が提供できた。また、保育教諭も環境であるとの思いで行っている。
規則正しい生活習慣の定着に向けての指導が行われている。	A	園児の家庭環境の把握や発達の特徴を理解し支援しながら保護者へ働きかけてきた。
職員の資質向上に係る取組について	A	コロナ禍の影響で研修が開催されない中、園内研修を行うことで資質の向上につなげた。
幼小連携に係る取組について	A	こ小連携会議への参加、園学校相互の訪問などを通して小学校や関係機関と連携をとり円滑な継続を図った。
安全管理の取組について	A	交通安全教室、避難訓練。総合避難訓練の年2回実施。各マニュアルの共有。マニュアルの保育者個々の確認を研修で行った。
子育て支援事業について	B	新型コロナウイルス感染拡大防止のためほとんどの事業が中止になってしまった。

情報の公開・発信について	A	毎月の園だより、保健だより、ホームページの活用。 一斉メールでの周知を行った。
--------------	---	--

※評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

4. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組方法
職員の資質向上	保育教諭として一人一人が自覚を持ち、園内研修を行ったり外部研修に積極的に参加したりして自分の保育の専門性を高める。
教育・保育の連続性	コロナ禍の中、思うように活動ができないが、複数担任でも共通の思いで保育できるように職員間で連携を図り日々の保育をしていく。
運動能力の向上	姿勢の維持、意欲がある園児を育てる教育・保育を行っていく。4年目になる「運動プログラム」の活用。
情報の発信	ホームページでの各クラスの活動配信を定期的にする。 一斉メールの活用。

令和3年3月31日

評価者

那珂川町立わかあゆ認定こども園

園長 大森 尚美